



もちろん無農薬栽培です。

## 新米を食べました

販売する米が早くに底をついてしまったので、保冷庫の調子が悪いまま放置してありました。そしたら自家飯米、虫がついてしまうなど味が落ちてしまって…、うちの食卓は9月に入ってから不機嫌になっていました。

ようやく、きのうの夕食に早稲(ヒトメボレ)の新米を食べました。あまり

期待していなかったんだけど、やっぱり、うまい！

ご飯の一粒一粒がふっくらしてて、ツヤがあって、そして甘みがあるんだよねえ。ちなみに、この後のコシヒカリが優っていると思うのは、さらに香りがあることかな。

さて、「新米がとれたらすぐに届けて」と注文をくださっている皆さんにお知らせ。じつは、お届けはコシヒカリ

が収穫できてからと思っているのですが、もしヒトメボレでもよければご用命ください。とりあえず5kgとかでも承ります。コシが収穫できるまではコシと同じ、5kg2500円です。

## 農機具の修理をしながら思う 蚊とマムシとイラクと日本と (前)

コンバインの大修理をしました。補修・交換を終えた部品を半日かけて本体に組み上げたのに、大きなネジが4本も残ってしまって、再び分解するはめに…などという苦労もあったけど、それよりも悩まされたのが蚊の襲来。部品と工具で両手ともが離せないようなときにかぎって、その手に

蚊がとまってくるんだよねえ。

おとなしく血を吸っていただけなら少くく分けやってもいいのに、後に痒みを残すからオマエら殺されちゃうんだぞおとか思いながら、いったい何匹の蚊をつぶしたのか…。

と、そんなことと関係があるのかなのか、いわき市の入東野というところ

コンバインを自力で大修理したのはいいけど…



ろで百姓をしている友人が、自分の「たより」に下記のようなことを書いていました。(無断転載)

というのは前書き。紙面がつきたので、本題は次号(以降)に。

## 武器を持たずば殺されまいに…

先日、草刈をしていてシマヘビを切ってしまった。何も悪いことをしないシマヘビだけに、本当に申し訳ないことをしてしまった。刈り始めたときに、鈍い抵抗を感じると、半身を切られたシマヘビが逃げていくではないか…。逃げた方がいいが、たぶん助からなかつたろう南無阿弥陀仏…。

私は商売柄、害虫は平気で殺すが、作物に害を与えないものは、決してわざと殺したりはしない。ただ、2つ例外がある。それはマムシとハチ(主にセグロアシナガバチ)である。どちらも毒牙と毒針を持っていて、人に危害を及ぼす可能

性がある。セグロアシナガバチは、スズメバチほど毒は強くないが、畑やハウスに巣を作るので、刺される危険が非常に大きい。だから、こいつらにだけは先制攻撃を加える。

考えてみれば、マムシも哀れなものである。毒をもっているゆえに見つかり殺されてしまう(今年も他の土手で2匹殺した)。身を守るはずのものが、逆に殺される原因になっているわけだ。ただ、このことは世界政治に映してみるといい教訓にならないだろうか? 日本は憲法九条で、いちおうタテマエとしてでも武器を放棄してきたから、どこからも

攻められずに済んだ。これが自衛と称して武器をどんどん増やしていったら(現実にはそういう方向に進んでいるが…)やはり戦争の危険を増やすだけで、決して平和のためには役立たないだろう。まあ、なかにはブッシュのように大量破壊兵器を持たない国を侵略しておいて、まったく反省しない合州国のような国もあるから、軍備が少ないからといって絶対安全ともいえないが、あんな大量破壊兵器の大量保有国に軍備で対抗しても無意味だから、やはり余計な武器は持たないにこしたことはない。

戦争がしたくてしかたがない小泉首相と民主党の岡田代表、どうしてあんたらはそんなにマムシになりたいの…?